

HiKOKI

取扱説明書

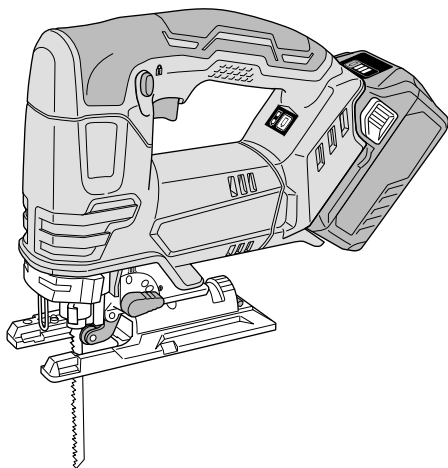
用途

- 各種木材の切断、および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなど各種合成樹脂の切断
- 各種化粧板、薄物軟質新材材の切断
- ステンレス板の切断

コードレスジグソー

18 V
135 mm **CJ 18DA**

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称…	9
標準付属品…	10
仕様…	11
別売部品…	13

使い方

蓄電池の取りはずし・取付け…	15
六角棒スパナの収納について…	15
ブレードの取付け・取りはずし…	16
スイッチロックについて…	17
スイッチについて…	17
LED ライトの使い方…	18
電池残量について…	19
オービタル機構について…	21
刃口板の取付け…	22
基本の切断…	23
金属の切断…	25
いろいろな切断…	27
ガイド（別売部品）を使う…	29
ベースプレート（別売部品）の交換…	31
サブベース（別売部品）の取付け…	31
ダストコレクタ（別売部品）の取付け…	32

その他

保守・点検…	33
ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠️注意

- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⚠️ 注意

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑫ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスジグソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあります。
 - 誤って電線を切断してしまった場合の感電防止のため、使用中は機体の金属部に触れないでください。
- ② 次の場合は、スイッチを切り、スイッチロックをロック側（右側）に押し込みロックして蓄電池を工具本体からはずしてください。
 - 作業を中断、および終了したとき
 - ブレードを取付け・取りはずすとき
 - 付属品や別売部品を取付け・取りはずすとき
 - ベースの位置を調整するとき
 - 保守・点検・保管するとき
- ③ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、ブレード類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑥ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠️ 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑦ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑨ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

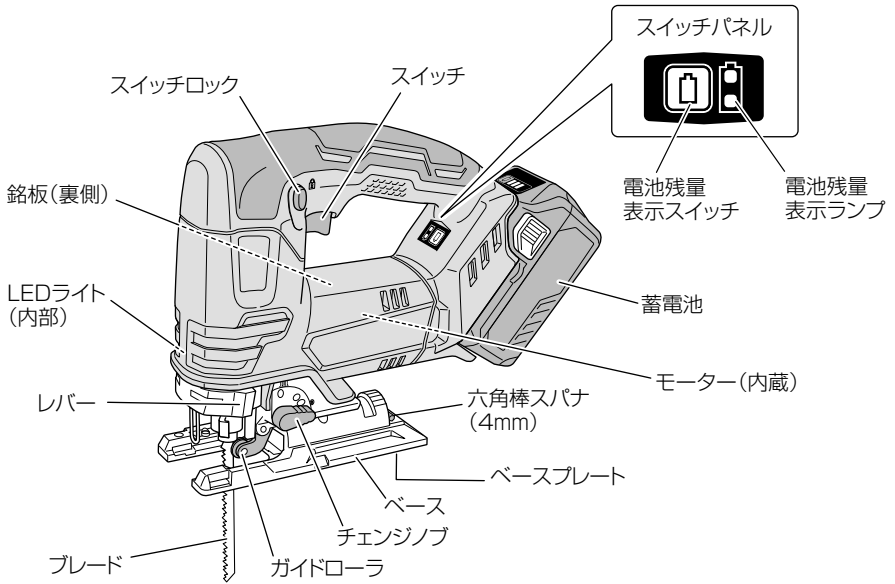


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

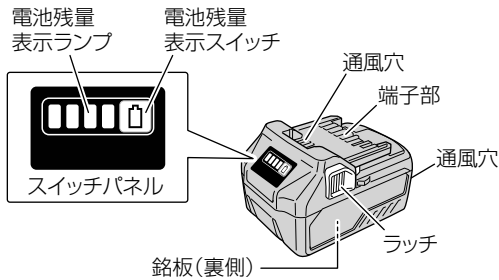
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

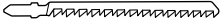
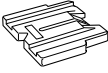
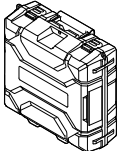

工具本体



蓄電池



標準付属品

品名・形名	仕様	XP	NN
ブレード (No. 41) 		1 枚	1 枚
六角棒スパナ (4 mm) 		1 本 (ベース収納部に装着)	1 本 (ベース収納部に装着)
刃口板 		1 個	1 個
ケース 		1 個	—
蓄電池 BSL 36A18 		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
電池カバー 		1 個	—

仕様

1. 工具体

形名	CJ 18DA
切断能力	木材：厚さ 135 mm 軟鋼板：厚さ 10 mm ステンレス：厚さ 2.5 mm
モーター	直流モーター
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	0 ~ 2,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }
ストローク量	26 mm
最小切断半径	25 mm
寸法 全長 × 高さ × 全幅	276 × 202 × 81 mm (BSL 36A18 装着時)
質量	2.6 kg (BSL 36A18 装着時)
使用可能蓄電池	リチウムイオン電池 マルチボルトタイプ蓄電池 または 18 V (BSL 18xx シリーズ)
LED ライト	白色 LED
残量表示ランプ	赤色 LED
振動3軸合成値 ^{*1}	木材 7.5 m/s ² ^{*2} 軟鋼板 5.0 m/s ² ^{*2}

※1：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については、振動 JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：<https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。

※2：振動3軸合成値は、EN62841-2-11 規格に基づき測定しています。

2. 蓄電池

形名	BSL 36A18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (工具本体により自動切替)
容量	2.5 Ah / 5.0 Ah (工具本体により自動切替)
冷却	対応
使用可能コードレス製品	18 V 品 : 使用可 36 V 品 : マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

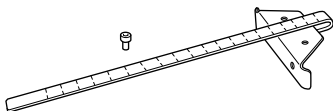
別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品を使用することで、いろいろな作業に利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガイド

直線や円弧を切る場合に利用してください。

(P.29「ガイドを使う」参照)



ベースプレート

コーティング方法が異なる2種類のスチール製ベースプレートがあります。

エポキシ系樹脂：防錆性能に優れ、防食性も高い

フッ素樹脂：滑りが良く、耐摩耗性に優れています

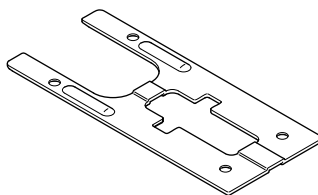
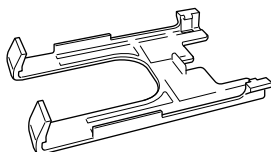
(P.31「ベースプレートの交換」参照)

コーティング材	コード No.
エポキシ系樹脂	375855
フッ素樹脂	339012

サブベース (樹脂製)

円や円弧など曲線切りの際に使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

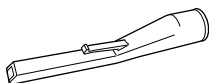
(P.31「サブベースの取付け」参照)



ダストコレクタ

木材などの切断時に発生する切粉を、集じん機 (別売) を使用して集じんする場合に用います。

(P.32「ダストコレクタの取付け」参照)



各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

ブレード適正一覧表 [下記表中の数字は切断可能な厚さ (mm) を示します。]

主要 切断材料	ブレード No.	山数 / 1 インチ	全長 mm	切断能力 mm				
				木材合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木材	※ No.1	9 山	88	20 ~ 45	—	—	—	—
	※ No.2	12 山		20 以下	3 ~ 20	—	—	—
	No.1 (ロング)	6 山	160	105 以下	—	—	—	—
	No.1 (スーパーロング)		185	135 以下	—	—	—	—
	No.11	8 山	105	10 ~ 55	5 ~ 20	—	—	—
	※ No.31	9 山		20 ~ 55	—	—	—	—
	No.12	20 山	77	20 以下	10 以下	—	—	—
	No.42	13 山		2 ~ 15	—	—	—	—
	合板用	25 山		2 ~ 20	—	—	—	—
	曲線切り	14 山		20 以下	—	—	—	—
	No.21 (仕上用)	6 山	105	5 ~ 55	5 ~ 20	—	—	—
	No.22 (仕上用)	10 山		3 ~ 40	3 ~ 15	—	—	—
	No.41 (仕上用)	8 山	116	10 ~ 65	—	—	—	—
	No.1 (仕上用)	12 山	82	2 ~ 40	3 以下	—	—	—
合成樹脂	No.4	13 山	83	—	3 ~ 20	—	—	—
FRP	グリッド	—	83	FRP 板厚 10 mm				
鉄材	No.123X	10 ~ 21 山	100	—	—	1.5 ~ 10	—	—
	No.15	8 山	77	—	5 ~ 15	3 ~ 6	—	3 ~ 10
	No.16	25 山		—	5 以下	3 以下	—	3 以下
	No.5A (押切刃)			—	—	1.7 ~ 3.0	—	2 ~ 4
	No.6A (押切刃)	32 山		—	—	1.6 以下	—	2 以下
	曲線切り	25 山		—	—	2 以下	—	—
ステンレス	No.50	13 山		92	—	5 ~ 15	2.5 ~ 6.0	2.0 ~ 2.5
	No.51	21 山	—		5 ~ 20	1.5 ~ 5.0	1.5 ~ 2.5	5 以下
	No.52	32 山	—		5 以下	3 以下	0.5 ~ 1.5	3 以下
	No.97	21 山	77	—	5 ~ 15	2 ~ 5	1.5 ~ 2.5	5 以下
	No.95	18 山	83	—	5 ~ 20	3 ~ 6	1.5 ~ 2.5	3 ~ 12
	No.96	32 山		—	5 以下	3 以下	0.5 ~ 1.5	3 以下

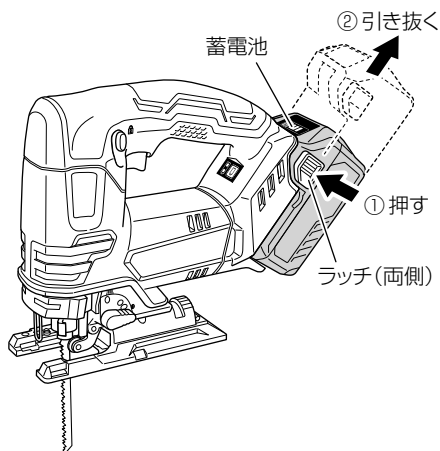
※ No.1、2、31 のブレードで、傾斜切断はできません。

蓄電池の取りはずし・取付け

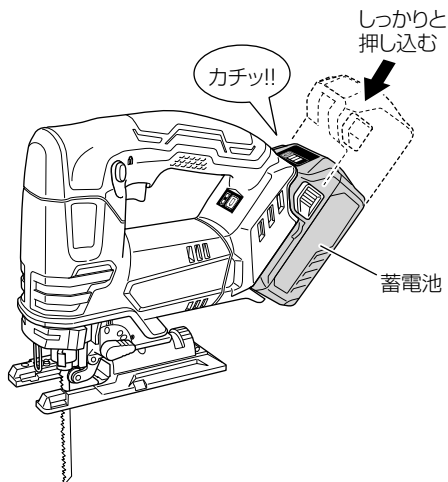
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

取りはずすとき



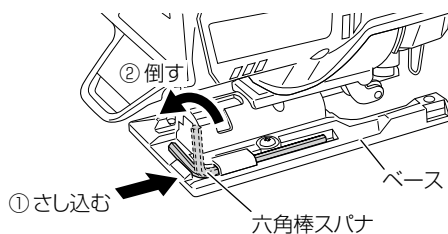
取付けるとき



六角棒スパナの収納について

ベースに六角棒スパナを収納することができます。

右図のように収納してください。



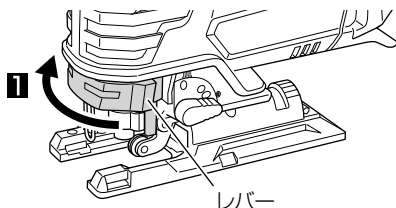
ブレードの取付け・取りはずし

⚠注意

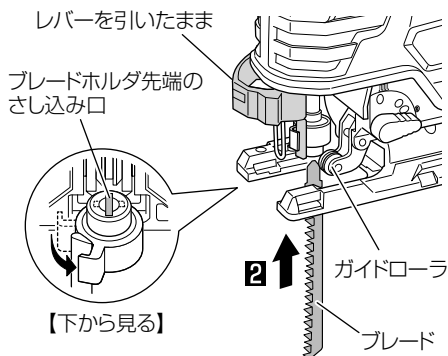
- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。
- ブレードの刃に触れないでください。

取付け方

- 1** レバーを矢印の方向に引きます。

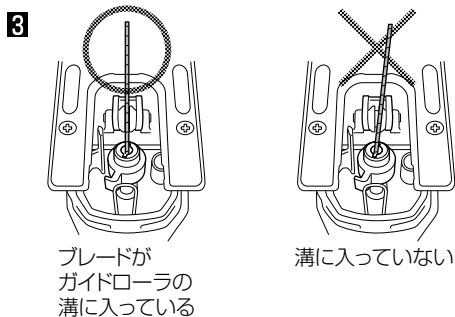


- 2** レバーを引いたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。



- 3** レバーを元に戻すとブレードが固定されます。

ブレードがガイドローラの溝に入っていること、またブレードが抜けないことを確認してください。



取りはずし方

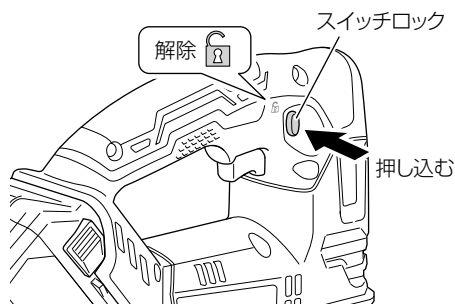
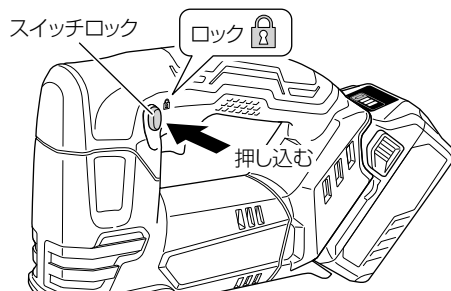
- 4** 取付けたときと同様にレバーを矢印 **1** の方向に引きながら、ブレードを引き抜きます。

- 注**
- ガイドローラ部に、時々潤滑油をさしてください。
 - ブレードを交換するときに、さし込み口にたまった切粉を掃除してください。

スイッチロックについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないように、スイッチロックが付いています。

スイッチロックは、しっかりと押し込んでください。



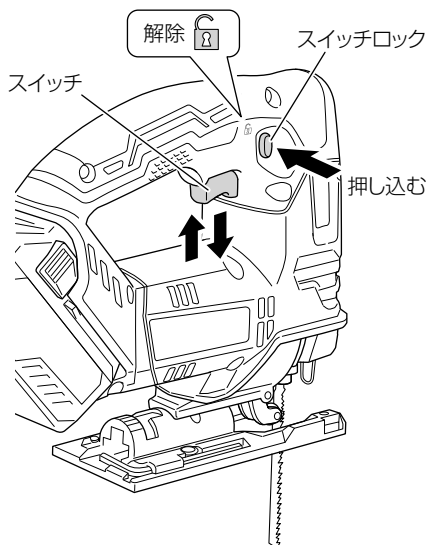
スイッチについて

スイッチロックを「解除」側にした状態で、スイッチを引くと入り、はなすと切れます。

スイッチの引き込み量で無段階にストローク数が変わります。

スイッチを大きく引くと、ストローク数が上がります。

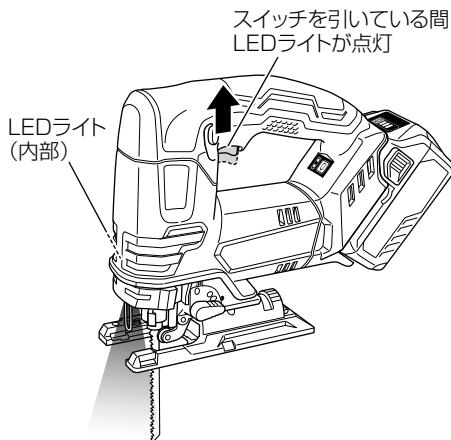
また、スイッチをはなすとブレーキがかかります、すぐに止まります。



LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、LED ライトが
工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなすと、LED ライト
は消灯します。






電池残量表示について

● 工具本体の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

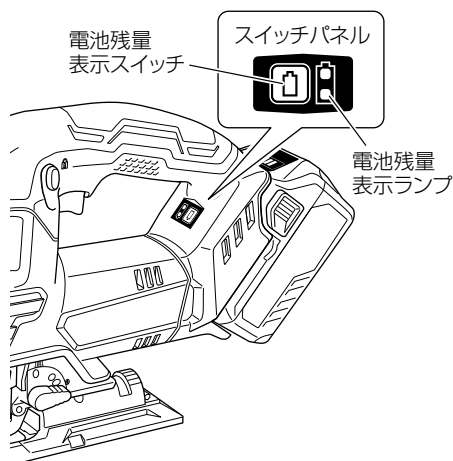
電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が約半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



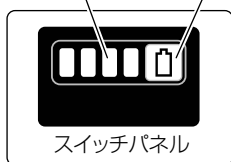
●蓄電池の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

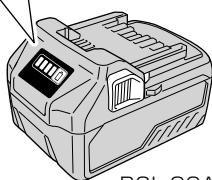
電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

電池残量表示ランプ
電池残量表示スイッチ



スイッチパネル



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

注 残量表示機能のある製品を使用した場合、製品側と充電器側の残量表示が異なる場合があります。

●1 充電当たりの作業量について

切断量は、材料の状態、ブレードの種類、使用環境、蓄電池特性などにより多少異なります。

(蓄電池 BSL 36A18 使用時)

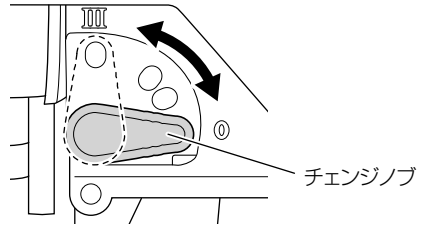
材料	サイズ(長さ×厚さ)	使用ブレード	オービタルポジション	作業量
MDF	300 mm × 24 mm	No. 41	Ⅲ	130 カット

オービタル機構について

本機はブレードが上下運動と同時に前後にも運動するオービタル運動機構を備えています。

オービタルポジションはチェンジノブで切り替わります。

用途に応じたオービタルポジションを選択してください。



● オービタル運動機構

ブレードが上下プラス前後運動するため、特に木材などの軟質材において、切断材への食い込み、および切粉の排出が良くなり、切断作業が効率良く行えます。

		オービタルポジション			
		Ⅲ	←→	0	
ブレードの運動軌道	ストローク量 26mm				
					単なる上下運動

● オービタルポジションの選択 (目安)

最適なポジションは切断する材料のかたさ、厚さ、切断面の仕上がり程度、およびその他の要因によって左右されるため、あくまでも目安として利用してください。

オービタル機構使用時は材料がバタつきやすいため、材料をしっかり固定してください。

要 因	オービタルポジション	
	Ⅲ ←→ 0	
材 料 の か た さ	軟質材 ←→ 硬質材	
材 料 の 厚 さ	厚い ←→ 薄い	
切 断 速 度	速く切る ←→ ゆっくり切る	
直線切りか曲線切りか	直線に切る ←→ 曲線に切る	
仕 上 り 程 度	悪くても良い (ケバ立ち、縁欠け などがあっても良い) ←→	きれいに仕上げたい

刃口板の取付け

木材の直線切りで、切断面角部のけば立ちを小さくするとき刃口板を使用します。

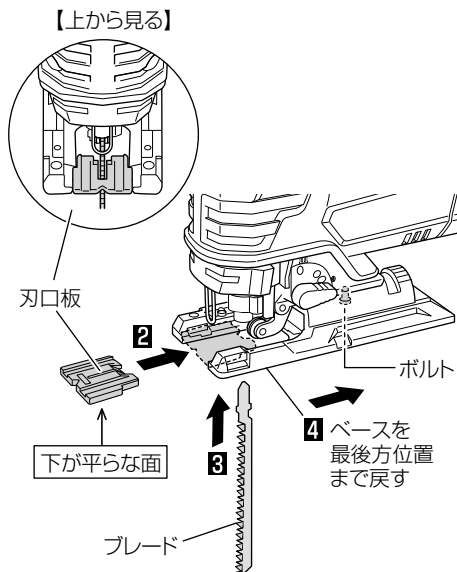
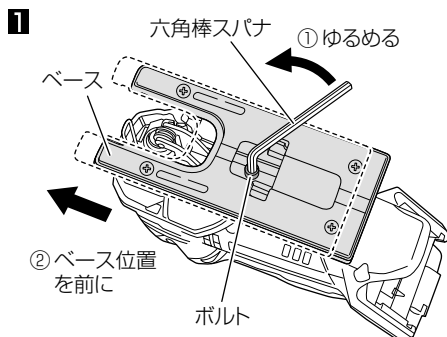
注 刃口板は直角での（ベース傾斜0°）直線切り以外の切断には使用できません。

1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動させます。

2 刃口板をベース前面から、奥までさし込みます。

3 ブレードを装着します。
(P.16「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

4 ベースを最後方位置まで戻し、ベース下部のボルトを締付けてベースを固定します。



基本の切断

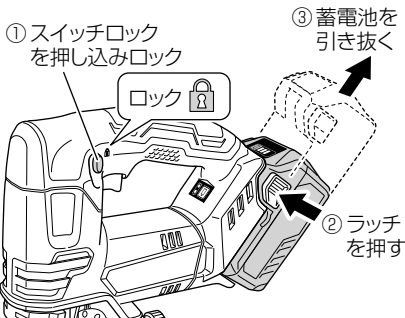
材料に、ケガキ線を引き、線に沿って切断します。

- 注**
- 必要に応じて刃口板を取付けてください。(P.22「刃口板の取付け」参照)
 - ガイド(別売部品)を使って、直線切りや円弧切りをきれいに行うことができます。(P.29「ガイドを使う」参照)

1

蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、スイッチロックをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。(P.17「スイッチロックについて」参照)



2

ケガキ線を引く

必要に応じて、材料を切断する場所にケガキ線を引きます。

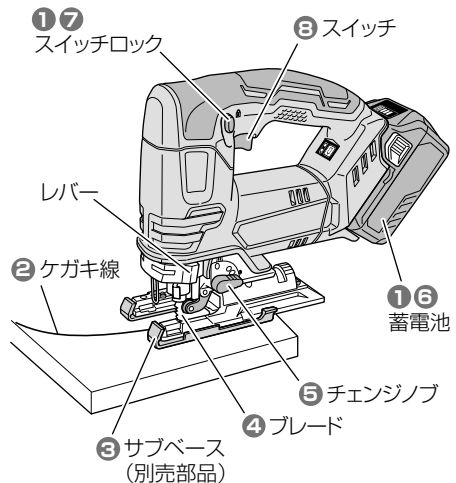
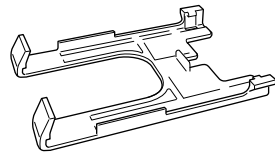
⚠ 注意

- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。
- ブレードが作動している間は、レバーを動かさないでください。

3

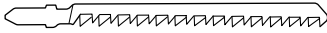
サブベース(別売部品)を取付ける (曲線切りの場合)

曲線切りをするときは、別売部品のサブベースを使用すると作業しやすくなります。(P.31「サブベースの取付け」参照)



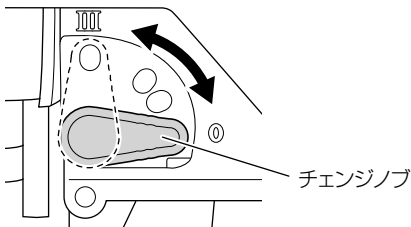
4 ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレードを使用してください。
(P.16「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



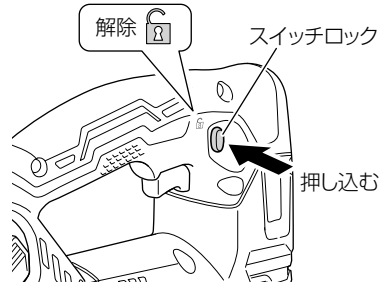
5 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを回して、用途に応じたオービタルポジションに設定します。
(P.21「オービタル機構について」参照)



7 スイッチロックを解除する

スイッチロックを解除側（左側）に押し込み、スイッチロックを解除します。
(P.17「スイッチロックについて」参照)



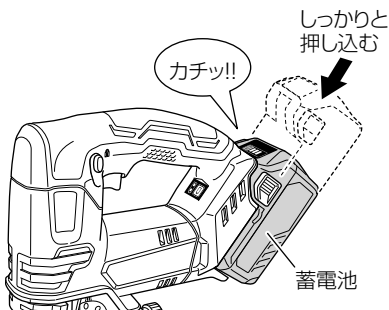
注 切断中は、ベースを材料に密着させてください。
ベースと材料がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。

8 切り込む

ベースを材料に密着させ、ブレードが材料に触れない位置でスイッチを入れます。
ケガキ線に沿って、ゆっくりと切断してください。スイッチの引き具合でスピードを調節してください。
(P.17「スイッチについて」参照)

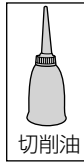
6 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



金属の切断

- 注** 金属切断時は切削油
(スピンドル油、石けん水など)
を使用してください。



● 軟鋼板の切断

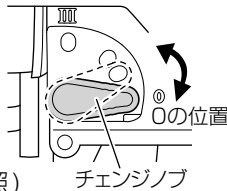
1 ブレードの選定

- 金属の切断には、別売部品の鉄材またはステンレス用ブレードを使用します。
(P.13「別売部品」参照)
- P.16「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

2 オービタルポジションを選択する

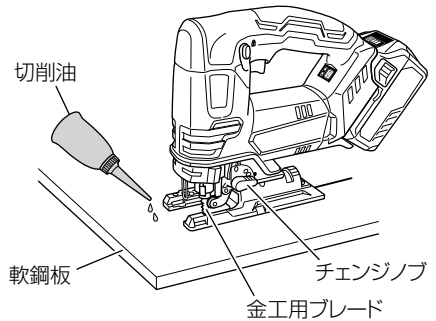
チェンジノブを
"0" または右図の
位置に合わせます。

(P.21「オービタル
機構について」参照)



3 切り込む

スイッチの引き加減を調節し、中速程
度で切断します。
(P.17「スイッチについて」参照)



●ステンレス板の切断

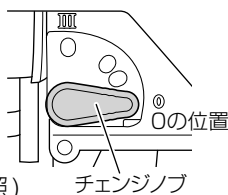
1 ブレードの選定

- ステンレス板の切断には、別売部品のステンレス用ブレードを使用します。(P.13「別売部品」参照)
- P.16「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。

2 オービタルポジションを選択する

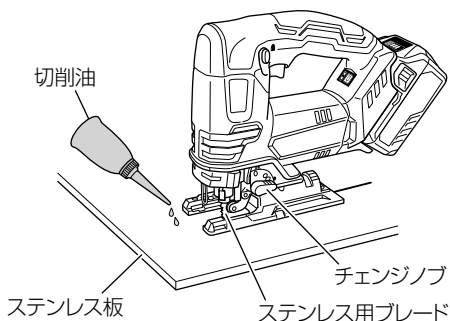
チェンジノブを"0"の位置に合わせます。

(P.21「オービタル機構について」参照)



3 切り込む

- スイッチの引き加減を調節し、中速程度で切断します。(P.17「スイッチについて」参照)

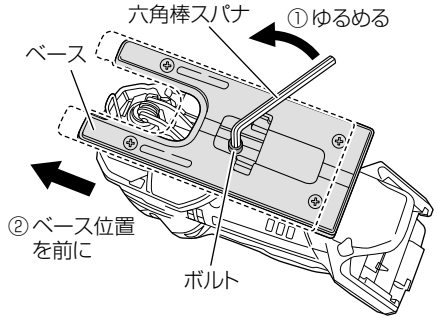


いろいろな切断

● 傾斜切断

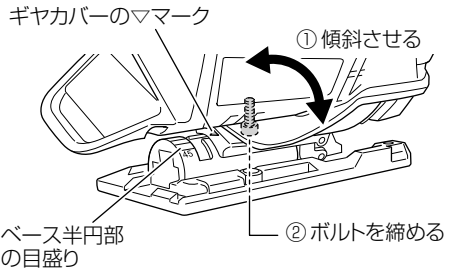
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動します。



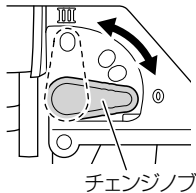
2 傾斜させる

- ギヤカバーの▽マークをベース半円部の目盛りに合わせ、ベース下部のボルトをしっかりと締付けます。
- ベース半円部の目盛りは左右 0°～45°まで 15° ごとに表示してあります。



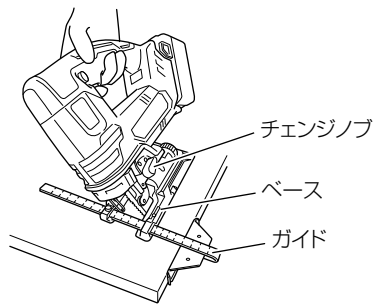
3 オービタルポジションを選択する

用途に応じて設定します。
(P.21「オービタル機構について」参照)



4 切り込む

ベースを材料に密着させ、ブレードが材料に触れない位置でスイッチを入れます。ケガキ線に沿って、ゆっくりと切断してください。スイッチの引き具合でスピードを調節してください。
(P.17「スイッチについて」参照)

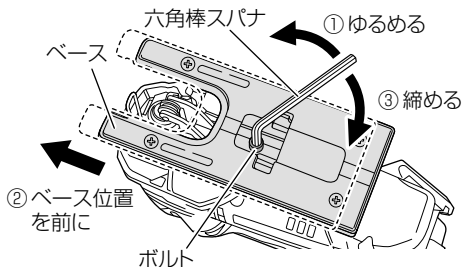


注 ガイドの使い方は、P.29「ガイドを使う」を参照してください。

●窓抜き切断

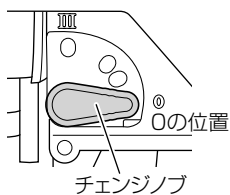
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動して、固定します。



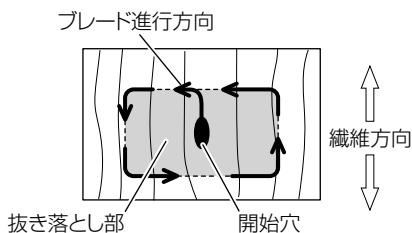
2 オービタルポジションを選択する

チェンジノブを"0"の位置に合わせます。
(P.21「オービタル機構について」参照)

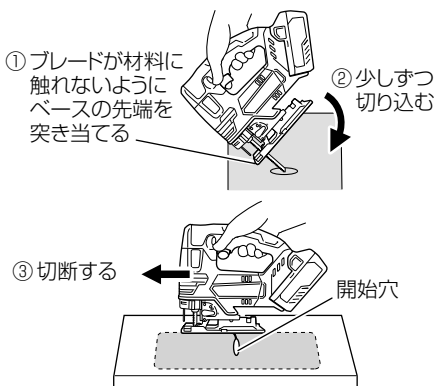


3 切り込む

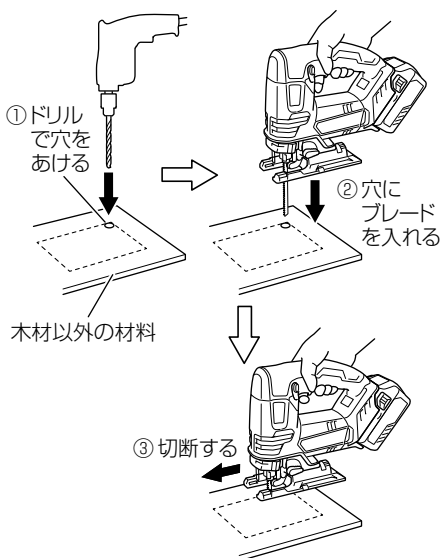
- ベースの先端を材料に突き当てます。
- 木材の繊維方向にブレードを向け、少しずつ切り込んで開始穴を作り、木材の中部から窓抜きます。
(P.17「スイッチについて」参照)



木材の場合



木材以外の材料の場合



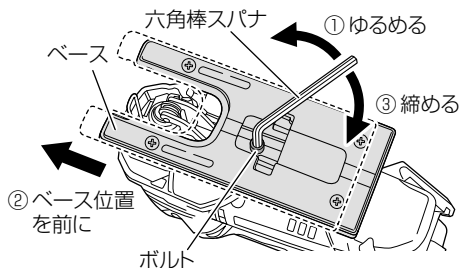
注 木材以外の材料は、あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて窓抜きを開始してください。

ガイド（別売部品）を使う

●ガイドの取付け方

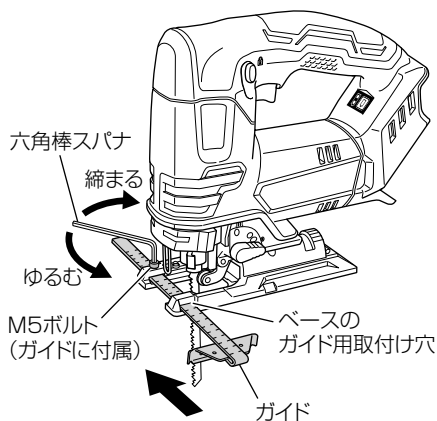
1 ベースを前にずらす

ガイドを取付けるときは、ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してボルトを締付けます。



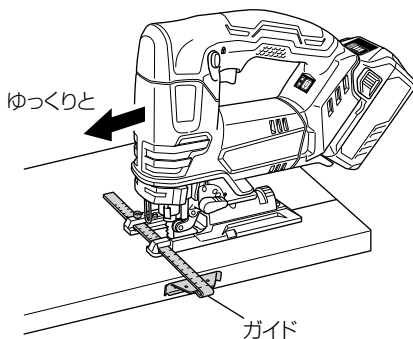
2 ガイドを取付ける

ガイドをベースの取付け穴に通し、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けて固定します。



●ガイドを使って直線に切る

材料の側面にガイドを突き当ててゆっくりと滑らせて切断します。



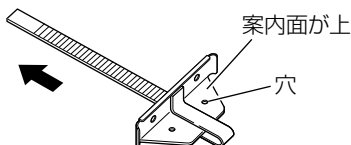
●ガイドを使って円、円弧に切る

ガイドを使って円や円弧に切ることができます。

このとき、別売部品のサブベースを取付けると、材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

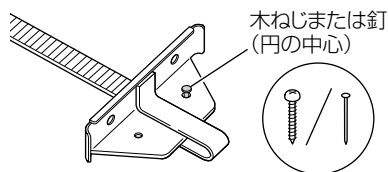
1 ガイドを取付ける

ガイドの向きは、下図に示すように案内面を上にしします。



4 円の中心を決める

ガイドの穴に木ねじ (太さ 3mm)、または釘で位置決めをします。



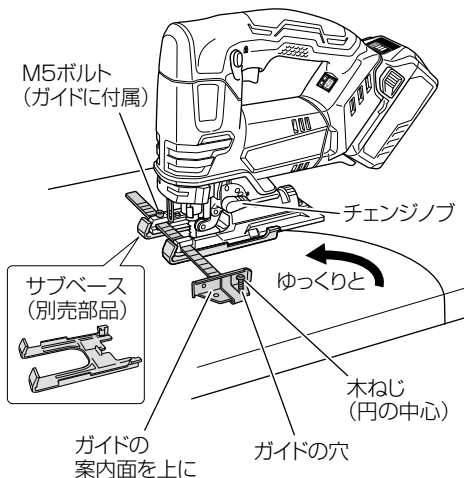
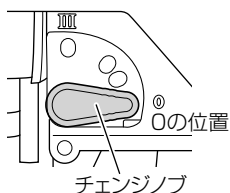
2 円の半径を決める

ガイドに設けてある穴とブレードまでの寸法を調節して円の半径を決め、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けてガイドを固定します。

注 小さい円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。
無理に速く送ると、ブレードが折れる原因になります。

3 オービタルポジションを選択する

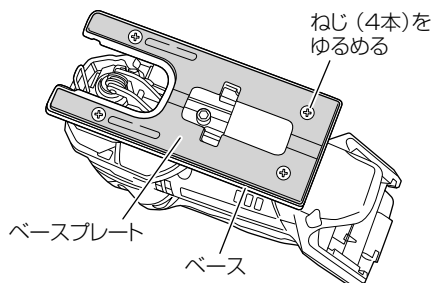
きれいな円弧、曲線を切るには、チェンジノブを "0" の位置に合わせます。
(P.21「オービタル機構について」参照)



ベースプレート（別売部品）の交換

ベースのねじ（4本）をゆるめるとベースプレートが取りはずせます。

取付け後は、ねじ（4本）をしっかり締付けてください。

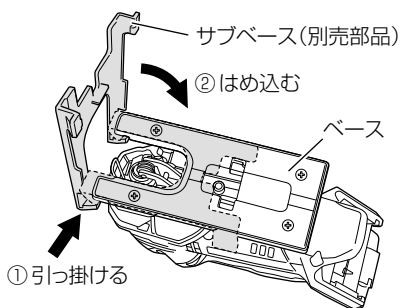


サブベース（別売部品）の取付け

円や円弧など、曲線切りのときに使用します。材料への引っ掛かりを解消し、作業しやすくなります。

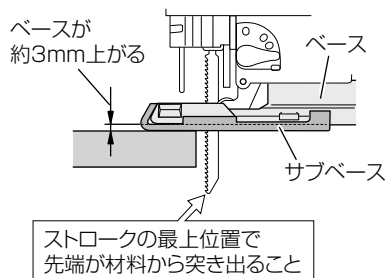
ベースの先端にサブベースを引っ掛けてからはめ込みます。

はずすときは引き上げてください。



注 ブレードが最も上に移動したときに、材料からブレードが出ることを確認してください。

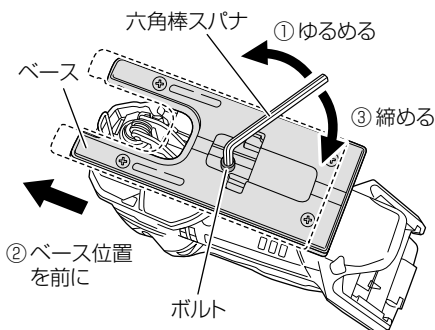
サブベースを取付けると、切断材からブレードが突き出る長さが3mm減少します。



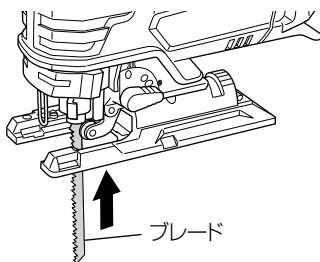
ダストコレクタ（別売部品）の取付け

木材などの切断時に発生する切粉を、集じん機（別売）を使用して集じんする場合に用います。

- 1 ベース下部のボルトを標準付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方に突き当たるまで移動してから固定します。

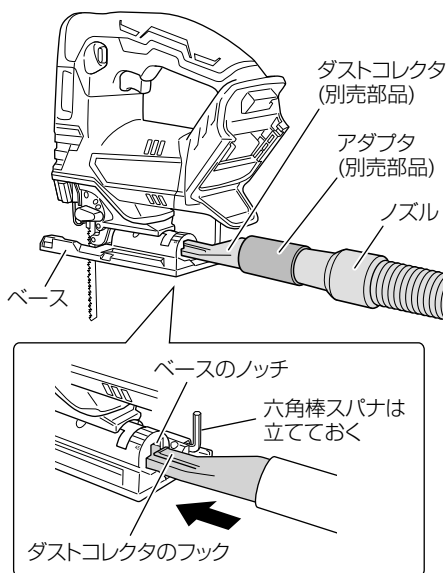


- 2 ブレードを取付けます。
(P.16「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



- 3 ダストコレクタのフックがベースのノッチに確実に収まるまで、ベースにさし込みます。

- 注** ノズルの内径がφ25以下の集じん機を使用する場合は、別途アダプタ（別売部品）を右図のように接続します。



保守・点検

● ブレードの点検

各ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

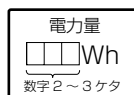
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

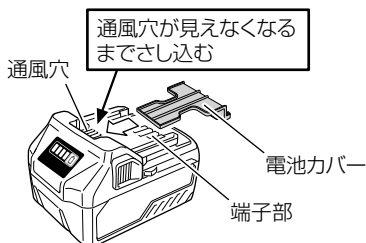


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは


修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>